

名経大通信

第4号

2002年11月30日

名古屋経済大学

<http://www.nagoya-ku.ac.jp/>

CONTENTS

- P1** Top News
張トヨタ自動車社長
本学に迎えて講演
- P2** Interview
短期大学部
野田副学長に聞く
- P3** Lecture Meeting
経営学部開設記念講演会
- P4** Information
法学部改組へ/
会計特別研究室新設
- P5** Global
中国の東北大学で入試
- P5.6** Employment
就職活動のポイント
加藤先輩が就職の指導
- P7** Local
犬山市の子ども大学に協力/
豊橋の中学から訪問
- P8** Information
オープンキャンパス/
平成13年度決算報告
- P9** 音部さん芸術奨励賞/
セクハラについて
- P10** Books&Author
新刊紹介
- P11** Photo Gallery
双六祭/
入試日程の紹介



張トヨタ自動車社長が本学で講演 元気な日本に、皆さん挑戦を

トヨタ自動車の張富士夫社長をお迎えして、十一月八日、本学の講堂で「トヨタの世界戦略」をテーマに講演を行いました。名古屋経済大学法学会の主催で、張社長は、一時間、「人を大事にする」ことにポイントを置いた話をなさいました。学生たちの関心は深く、満席の会場から質問が続きました。講演の要点を紹介します。

国産の自動車は十五年位前から輸出が減り、海外生産が増えました。このため、ある種の空洞化を生み、日本では仕事が減り、海外で仕事が増えました。自動車は当分、成長産業と見ていいでしょう。特に中国での売れ行きは目覚しく、二〇〇八年北京オリンピックまでぐんぐん伸びる見通しで、世界市場の中心の一つです。



インド、ロシア、中南米などもこれから伸びる市場だけれども、環境問題とエネルギー問題を克服しないと自動車には明日がありません。環境対応車ハイブリッド車の技術を日産に売りましたが、技術開発は共同で進めなければならず、独占すべき性格のものではありません。日本国内でのトヨタの自動車のシェアは現在四二%、世界でのトヨタのシェアは一〇%台で、十五%を目指してチャレンジします。成功のポイントは何か。世界

各地に進出した工場すべてを同じ質の良いレベルに育てることです。ケンタッキーで工場を作ったとき、合い言葉は「安全はすべての工程の入り口だ」というものでした。従業員に対し安全教育から始め、アメリカ人がびつくりし、「なんてトヨタっていい会社なんだろう」といわれました。製造業はどこまでいっても人が中心です。欧米の資本主義に対して日本として残さなければならぬことは何なのか。泥臭いことかも知りませんが、人を大事にすることです。それを守れるように心がけています。

今、日本はあまり元気ではありません。元気にするよう、若い皆さんががんばってください。「なぜだ、なぜだ」と問いかけ、いろんなことに果敢に挑戦してください。



張さんのお人柄に感嘆

法学部教授 宮崎 孝

張さんのお付き合いは、十七年前にさかのぼります。

当時、私はミシシッピ河下流の五州を受け持つ日本の総領事を勤めていました。そこへ、五州の一つであるケンタッキーにトヨタが工場を作ることとなり、張さんが現地の責任者として赴任して来られました。

張さんは、むかし米国でお世話になったからと言って、今回の講演を引き受けてくださったのですが、実は多くにお世話というほどのことはしておりません。ニューヨークでの会議に一緒に出たり、州知事の催す行事に同時に招かれたりした程度です。

そのうち私はフランス、さらにラテンアメリカに転勤し、張さんとお付き合いが途絶えました。

一九九四年、私が筑波大学で教壇に立っていたとき、米国工場を建ち上げ、軌道に乗せ、本社常務に栄転していた張さんから食事に招かれました。その後、張さんは専務、副社長を経て、一九九九年社長になられました。それでも昔どおりのえらぶらないお人柄には感服しております。

今回の異例のご厚意も、このお人柄ゆえと感謝しております。

野田昇司 短期大学部副学長に聞く

アナウンサーから転身



短期大学部は、このたび元NHKアナウンサーの野田昇司氏を副学長に迎えました。校名の変更、新学科の開設、そして新たな副学長就任と名実ともに変革の年となった二年。「人を知り、理解する」「相手に伝わる」ことこそ大事とする野田副学長に、今の「ミニユニケーション」社会で求められているものとは何か、また今後の授業方針などについて話してもらいました。

野田副学長は、放送界から教育界への転身をされたわけですが、この大学の第一印象はいかがでしたか？

初めて来たのが春休み期間中でしたので、学生があまりいなくて、静かな所だなあと(笑)。僕らが学生の頃は、授業が休みでも何となく学校に来て…というのが当たり前でしたから、大学というところにも多くの学生が

歩いているイメージがあったんです。教育現場に立たれた経験は？

以前に半年間、放送文化に関する非常勤講師を務めたことがあります。それが、それ以外は皆無です。大学を出て以来三十数年間、NHKでアナウンサーをしておりまして。NHK退社後は四年ほど文化教室の仕事に携わっていましたが、講師というより世話役の方でした。

話すお仕事をしてこられたので、やはり日本語にはお厳しい？

厳しいかどうかはともかく、近頃の若者言葉、たとえば語尾を上げる半疑問形の口調や「とか」の乱用など、気になることは多いです。

副学長が授業を担当される計画もあると聞いていますが、どのような授業をなさりたいですか？

ズバリ、「わかりやすい授業」です。いくら立派なことを言っても、相手にわかってもらえなければ意味がない。わかしてもらえれば学生の満足度も上がるし、学習意欲も上がるでしょう。放送では、わかりやすさというのが大事なことですよ。

自分が知っていることは他人も知っているかと思いがちですし、その逆もあります。たまたま自分が知らないものだから、放送の中で詳しく解説したら、「そんなことは誰でも知っているよ」とクレームがついたりね(笑)。アナウ

ナーのみならず制作スタッフも、受け手がどのように反応するか、大きな関心事なんです。どのあたりから解説すればいいのか、どれくらい表現をかみ砕いたらいいのか、ずいぶん悩みました。

表現について視聴者の反応は？

年々厳しくなっています。それに速いですよ。放送後すぐに電話が入ってくる。しかもその声のほとんどは苦情やお叱り。おほめの電話はほとんどありません。

そういう環境だからなおさら、日本語表現には敏感にならざるを得ないんですね。

表現もそうですし、メールもですね。よく「一般的によく知られているが…」と言いますけど、「一般って何なんだろう」って。

そのあたりの話になると、大学人にも非常に関係が深くなりますね。いろんな関心を持っている学生がいるわけですから、授業の照準をどの辺に定めたらいいのか苦労される先生方も多いと思いますよ。その解決法がありましたら教えてください。

私たちの場合は、とにかくいろいろな人と話をしましたね。同僚や外部の友人とお酒を呑みながらする世間話も、重要なハロネーターになります。そういうのを積み重ねて、あるジャンルに関して、「世間の人というのはだ

いたいのくらい知識を持っているのか」と判断するんです。その上で、放送の中での説明の詳しさを表現を決めてゆく。わかりやすい番組にするには、まず受け手の側を知らないこと…。

それを学校の話に置き換えると、わかりやすい授業をするには、まず学生を知ることだ？

そう。だから、僕はできるだけ学生諸君と話したいですね。電車の中で携帯電話で話したり化粧したりという、大人にとっては理解しづらい文化を持っている人もいますからね(笑)。いっぱい会話してみたら、彼ら彼女らを知るところから始めたい。

学生ひとこととお願ひします。

とにかく、もっと学校へ出てきなさい。そして、先生ともっと話したい。個人的に話してみると、授業の時とは違った側面も見えたり、別な話も聞ける。しかも、学生と会話することは先生方にも役に立つ。わかりやすい授業をしてもらえるきっかけにもなる。どちらにしてもメリットなんです(笑)。

PROFILE

野田昇司さん

岐阜県生まれ。1964年、名古屋大学文学部卒業。同年、日本放送協会(NHK)に入社。アナウンサーとして、全国各地の放送局で活躍。NHK文化センター岐阜支社長を経て、現職。

経営学部開設記念講演会開催される

二〇〇二年度に本学の経営学部が開設されたことを記念して、十月十二日、名古屋・栄のガスパビルで記念講演会が盛大に開催されました。

当日は名古屋経済大学鈴木正副学長ならびに丸山祐一経営学部長の挨拶に続き、「二十一世紀の求める会計教育」というテーマで大野功一関東学院大学学長による記念講演が行われました。大野氏は、財務会計の専門家で、国際会計教育協会の評議員としても活躍されています。

講演の内容は大略、次のとおりでした。

(一) 一九九八年の大学審議会答申「二十一世紀の大学像と今後の改革方策について 競争的環境の中で個性が輝く大学」や二〇〇二年の中央教育審議会答申「大学の質の保証に係る新たなシステムの構築について」「大学院における高度専門職業人養成について」「法科大学院の設置基準等について」を踏まえ、各大学では出口の見える教育を重視して、専門職業人の養成を軸にした大学・大学院改革がさまざまに模索されている。

(二) この場合、専門職（プロフェッション）とは、高度な体系的理論に基づく技術を用いて、独

占的に業務を行う権限を有し、その業務の水準を維持するために職業集団として自己規制を行う、という基本的な属性を有する職業を指す。

(三) わが国の専門職業人養成教育の方向については、すでに法科大学院（ロースクール）構想に見ることが出来る。ここでは、法曹人口への需要の高まりに対応すべく司法試験を含む現行の法曹養成制度の見直しを図られ、法学教育についても実学重視の方向が示されている。

(四) 会計にかかわる制度や法律は近年急速に変化しており、会計専門職に対する需要も大きく拡大している。また一方では、米国内企業における不正経理の発覚や日

本企業における不良債権の拡大などを通じて、会計専門職に対する国民の信頼感が揺らいでいる。こうしたさまざまな変化を背景に、会計専門職における教育・人材育成の強化と知識・技術水準の維持向上が求められ、そのための試験制度の改正も進められてきている。

(五) 会計専門職の養成について、現状は資格試験専門学校に大きく依存する状況にあり、大学は十分な役割を果たしていない。今後、学部教育と大学院教育の役割分担と連携の強化を図りながら、会計専門職養成に対する社会の要請に大学が応えていく必要がある。すなわち大学院教育では、資格試験で問われる専門的能力の教授とともに職業倫理教育の充実、隣接分

野と関連させた教育が必要であり、また学部教育では、コミュニケーション能力の育成を基礎に、簿記技術の習得と会計の基本的なルールを教授することにより、会計の二面的な性格（技術的性格と社会的性格）を理解させることが必要である。

以上を踏まえ、最後にまとめとして今後、専門職業人養成を大学が看板に掲げるとしたら、それにふさわしい体制作りと大学人の覚悟が必要となること、ここでは教育の重視に向け、従来の研究センターの教員の考え方も転換する必要があることが指摘されました。

伊藤学君（大学院生）、 公認会計士試験に合格



伊藤 学君

平成十四年の公認会計士試験（第二次試験）に名古屋経済大学大学院二年、伊藤学君（酒巻俊雄ゼミ）が合格しました。

公認会計士の試験制度は一次から三次までありますが、二次試験はその中核で、外交官試験や司法試験とともに国家試験で最も難しいものの一つとされています。伊藤君は

今回合格率七%の難関を突破しました。

三年間、会計士補として実務経験を積み、三次試験に合格すれば公認会計士の資格が与えられます。

伊藤君は同志社大学卒業後、平成十三年に本大学院に入學しました。

法学部のモデル・チェンジ

平成十五年からの法学部は、今までの法学部の良いところは残しながら、外観や中味を斬新なものにします。

その背景で一番大きいのは、法についての知識や素養なしで生活することは、今の社会ではとても難しいことになってしまったということです。身近な法律問題が文字通り山ほどあります。これらの問題に立ち向かうとき、専門知識があるに越したことはありませんが、問題を解く道筋をはっきりさせることができれば、ほとんど問題は解決したともいえます。サラ金、多重債務、環境、リストラ、相続、離婚、医療、交通事故税金年金…これらの身近な問題を解決するには、まず、法律です。昔は「話しあい」で解決できたことが、できない時代になってしまったのです。

新しい教育課程では、社会現象を正確に見ることのできる基礎的な学力をまず身につける、この過程で幅広い法学的な基礎知識を修得する、そして卒業するまでに特定の法律分野の専門家として通用するような専門的、法的な知識と応用力を修得することになります。

一言でいえば、基礎的な学力+幅広い法学的な知識と素養+特定分野の法的知識と応用力、の養成ということですが、

具体的なコースは、

企業法コース 企業社会のスペシャリストを目標して企業の組織と活動に関する法的素養と具体的な法律問題に対応する能力を養成し、企業実務で活躍できる人材の育成。

国際関係法コース 国際社会で活躍するためにグローバル化の時代といわれる二十一世紀の日本の社会に貢献することのできる語学力と、国際的センスを持つ人材の育成。

行政政策コース 公的サービスの担い手として将来公務員として、広い視野からより良き社会の構築に関わっていくことのできる人材の育成。

司法コース 法律の専門分野で活躍するために法律専門職において幅広く活躍し、社会に貢献していくことのできる人材の育成。また、司法書士・行政書士・弁理士・宅地建物取引主任者など、資格取得へのバックアップも万全です。

私たち法学部の教員は、法律の専門家集団ではありますが、同時に教育のプロです。「成果をあげるこ

と」が私たちの使命です。新装開店の法学部を本当に良いものにするために、私たちは一層の緊張感と工夫をしながら頑張ります。

(法学部長 新美治一)

経営学部

「会計特別研究室」設置

平成十五年度より経営学部は、会計領域における実務とアカデミズムを融合させた高度な専門教育機関として、「会計特別研究室」を設置します。この研究室は、税理士、公認会計士、国税専門官、大企業への就職大学院進学といった修了後の職業領域を見据え、従来のビジネススクールより、一層スキルの明確化を図ったカリキュラムを提供するものです。

近年のめざましいIT化の波により、税務の世界でも平成十五年より電子申告制度の導入が予定されています。それにともない政府税調答申「あるべき税制の構築に向けた基本方針」あるいは経済財政諮問会議「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2002」では、給与所得者にまで申告納税を拡大しようとの動きも見られ、ここに税務および会計のマーケットが広がる可能性があります。また、わが国ではフットワーク

エクスプレス、米国ではエンロン、ワールドコムなどの不正経理および粉飾決算が相次いだため、コーポレートガバナンス強化による公認会計士の増員が検討され、アカウンタントおよび職業会計人の育成への要請はますます拡大してきています。これらの要請および社会環境の変化をふまえ、この研究室では、まずはアカウンタントおよび職業会計人の育成に重点を置き、新入生および在学生より会計特別研究生を募集・選抜します。研究生の当面の目標は税理士試験・簿記論の合格です。単に合格すればよいという資格試験対策中心の偏重教育ではなく、会計ディスクリジャー制度の維持あるいは公平・公正な租税制度の確立といったアカウンタントおよび職業会計人としての社会的機能、すなわち職業倫理、職業観をともなつた教育の充実に図ります。

会計特別研究生が一所懸命学習する姿勢および学習成果により、他の多くの在学生を啓発し、希望と活力を与え、ひいては経営学部全体の活性化につなげる。そんな優秀な人材を輩出する研究室であるべく、努力してまいります。

(経営学部講師 中村嘉男)

中国の東北大学で入学試験

法学部助教授 谷川 毅



学生食堂の様子

今年九月十七日、本学と学術交流協定を結んでいる東北大学（遼寧省瀋陽市）で、留学生の入試が実施された。こちらからは川岸清経

営学部入試委員長と留学生担当委員の楊海龍氏、そして私の三人が赴いた。

試験前日には今回の受験生も含めて本学への留学制度についての説明会があり、保護者も含めて十二名が集まった。

翌日、小論文の筆記試験に引き続いて面接試験が行われた。今回は初めての入試ということもあり、準備期間が短かく宣伝も十分にできなかったため、受験生は経営学部二名、法学部一名の計三名であった。しかし面接では三人それぞれが本学へ留学するにあたっての

熱い思いを語ってくれた。

空き時間には学内を見学させていただいた。かの張学良が「学校を作りたい」と父親の張作霖に話を打ちかけると、父親が「それならおまえ馬に乗って走ってこい、走った分だけ土地をやる」と言うてできたという大学だけあって、とにかく広いキャンパスで、学生も休み時間に自転車で教室間を移動している。購買部や食堂の内容もたいへん充実していた。

今回をきっかけに東北大学との学生レベルの交流がこれから盛んになることを期待したい。



教室から教室へも自転車で移動

就職内定まで

何が大切か

就職部長 田中 滋

就職活動は、学生にとって自分の将来を考える上で、またとない重要な機会です。

卒業したら親から自立し、自分の将来を自分で考えなければなりません。「自分の居場所がある企

業」「自分が輝くことのできる企業」を見つけ出し、納得のいく内定を勝ち取りましょう。

そのためには、どんな就職活動をするべきなのか、キーワードとなるいくつかの項目を述べてみましょう。

将来について真剣に悩むこと！
卒業したら、親から精神的にも経済的にも独立する覚悟があるか否か。パラサイトシングルのままでは夢も希望も持てません。

大人になること！

就職活動は、大人としての常識的な言動がきちんとできるかどうかキープイントです。

準備を整え、情報を収集し、行動すること！

情報は氾濫気味です。インターネットに振り回されてはいけません。「情報整理・取捨選択能力」が必要です。ターゲットを絞り込んだら、次は行動に移しましょう。「人と会えば企業は見えてくる」

ものなのです。

企業を見るメガネをもつこと！
今や企業は「業界横並び」では生き残ってはいけません。必ず独自のノウハウを持っているはずで、それが明確でない企業は???

面接は「仕事のシミュレーションの場である」と心得ること！
面接者の思いは、「この学生が入社したら上司や先輩社員、取引先に対してどんな対応をするだろう」の一点なのです。求められる能力



就職

ヒューマンエナジー

加藤奈穂子さん 母校で就職ガイダンス



加藤奈穂子さんは市邨学園短期大学(今年度から名古屋経済大学短期大学部)卒業の先輩です。名古屋市中区で会社を営み、事業は経営コンサルティングとコンピューターのソフト開発です。加藤社長自らが研修や講演に出向き、6月には本学の就職ガイダンスで講演していただきました。この機会に、就職する学生の心構えなどについて語っていただきました。

母校で先輩たちに語る気分はいいもとは違いますか。

違いますね。話の内容に手を加えたりはしませんけれど熱が入ります。この学校は以前、バスケットボールが強く、私は二年間打ち込み、その時の監督さんの推薦でアイシンエイドブリュに入社しました。ご恩があります。

今日の就職講習会の手応えはどうでしたか。

何かをつかみ取りたい、自分の行動指針として持ち帰りたいという熱意をすごく感じました。学生も忙しいでしょうが、もつとたくさん集まってもらいたいですね。

どういうところから講演を依頼されますか。

若いときは主に新人研修でしたが、今は就職者対象のマネージメント的な研修、講義が増えました。ディベート、セクハラに関するものもあります。マスコミに大きく取り上げられたりして、職場の女性には敏感になっています。

就職対策にディベートの訓練も重要ですか。

今日の就職講演会でもあなたに求められるコミュニケーション技能について、相手を感動させること、相手を納得させ行動に結びつけることを強調しました。就

職はゴールではなく、スタートです。そこから人間関係も始まります。

学生時代に学んだことが加藤さんのその後の生き方にどうつながっていますか。

バスケットに打ち込み、呉竹寮で合宿し、インターカレッジに出場して全国六位でした。最後までやる、必ずやりきる。それが今につながっているようです。もちろん失敗もいっぱいありますけど。

あちこちの大学で学生に接して感じていることを。

共通していえるのは、何もしない学生が増えたことです。以前はひたすらマーシャンをやっている人もいたし、サークルもにぎやかでした。この大学には今もリーダーシップのとれる元気のよい男子学生がいて、心強く感じます。

PROFILE

加藤 奈穂子さん

富山県内の高校から市邨学園短期大学商経科に入学。1982年卒業と同時にアイシンエイドブリュに入社。1994年、ヒューマンエナジーを設立。現在8人の従業員を30人規模に広げることが目標。

には、ストレス耐性・コミュニケーション能力・根気・リーダーシップ・組織の中で果たすであろう役割等々を挙げています。

自己PR

志望動機を認識すること！

志望動機は会社をほめることではありません。自分の強みをその会社でどう活かすことが出来るかをアピールすることが一番重要なことです。

就職活動は、良い意味で「いかに

目立つか」を常に考えること！

「不採用になったら」ばかり

考えないこと！

「十社受けたら八社すべる」そう思って活動しましょう。決して途中で安易な妥協をしたり、あきらめて活動を中止しないことです。

就職部を積極的に、上手に

利用すること！

皆さんの就職活動を支援するために就職部はあります。就職ガイダンスをはじめ数々の支援行事への積極参加はもとより、就職部員への相談をためらってはいけません。就職部は、常に皆さんをバックアップしていきます。

以上、九項目のキーワードをクリアできた人は必ず納得のいく内容が得られるはずです。



いつもと違う授業に興味津々

犬山子ども大学

子ども大学が犬山市教育委員会の主催で、スタートしました。この企画は、本年四月からの公立小中学校の週五日制に伴い、休日となった土曜日を利用して犬山市内の小中学生を対象に普段の授業とは異なった様々な分野の学習を体験させる試みで、マスコミにもとりあげられ話題となりました。

本学が担当したのは情報教育学科と名づけられた技能プログラムです。七月二十九日から八月九日まで（中学生は八月七日まで）二

号館の情報処理教室で小学生と中学生にわかれて講義が行われました。

小学生はインターネット検索と簡単なホームページ作成を、中学生はいわゆるネチケットに関する学習とホームページ作成を体験。

受講者は、熱心にホームページ作成に取り組み、各自が素晴らしいホームページを完成させ、担当した教員やTAを驚かせました。子どもたちの技術習得の早さや大人にはないセンスに触れ、逆に教えられることが多い一週間でした。

なお、子どもたちの作成したホームページは、犬山市のNPO「いぬやまe コミュニティネットワーク」のご厚意で、同団体のウェブページにおいて一般に公開されました。



豊橋から中学生グループ訪問 総合学習の テーマ取材

九月十七日、豊

橋市立南部中学校から「総合的な学習」のため大塚美穂さんから三年生七人が本学を訪問しました。

まず、高橋利治法学部教授による模擬講義が行われました。六法の話から始まり、「会社



社ってなんだ」というテーマで法律上における会社とはどういったものか説明がありました。生徒たちは小六法を引きながら真剣に高橋教授の講義を受けました。

七人は経済学や法学への興味から本学訪問を決めました。将来を見通した進路学習に関する質問事項が約三十項目あり、模擬講義の後半に一つひとつ高橋教授が回答しました。「大学ではどんなことを学ぶのか」「警察官になるためには」「大学生の就職について」など質問は多岐にわたりました。

遠方からの訪問で時間に制約が

ありましたが、コミュニケーションプラザで食事をしたあと、情報センターを横山文規副部長の案内で見学しました。初めは緊張気味でしたが、「学校に帰ってからクラスで報告します」と意欲に満ちた顔でキャンパスをあとにしました。

てからクラスで報告します」と意欲に満ちた顔でキャンパスをあとにしました。



親子一緒にオープンキャンパスにぎわう



7F2教室（大講義室）は両日とも満席になりました。

中島入学広報部長の全般的な説明に引き続き、各学部長うちそろつての講義体験は和やかな雰囲気でした。堀田経済学部長がお金について、丸山経営学部長が会社と経営について、新美法学部長は「本当の実力をつけた学生を養成したい」と語りかけました。また、短期大学部では現代コミュニケーション学科、商経科、生活文化学科、保育科に分かれて入学説明と模擬講義を行いました。

「入学相談コーナー」は、大学の

今年度のオープンキャンパスが七月二十八日、八月十八日の二回開催されました。

高校生たちの見学者はほぼ例年並みの五百数十人集まり、親子同伴が目立ちました。情報センター、図書館、就職資料室、音楽棟などを開放し、大学の説明会会場となった

三学部、短期大学の四学科それぞれに受け付け、例年に勝るにぎわいでした。

「入試方法はいくつかがあるが、どれを選んだらよいか」「入試問題の傾向と面接内容を知りたい」「入学後の学習に備え、どのような実力をつけておくべきか」「学生寮の利用状況、部活動の様子、就職の見通しについて」など幅広い相談内容でした。

来学したほとんどの高校生が名古屋経済大学あるいは短期大学部への入学を強く希望し、相談に応じた教員たちは「合格するために努力を惜しまないでほしい」と助言を与えていました。

平成13年度決算報告

学校法人市邨学園の平成13年度決算が確定しました。計算書のうち、資金収支計算書及び消費収支計算書は下記の通りです。

資金収支計算書は、年度中の諸活動に対するすべての収入、及び支出の内容と年度中における支払資金の順末を明らかにしています。

消費収支計算書は、年度中の消費収入と消費支出の内容を明らかにし、消費収支の均衡状態を表示しています。

13年度の学生生徒納付金収入は、前年度比約1割減少し、経常経費は漸減したものの、単年度で大幅な支出超過となりました。

平成14年度以降も、より健全な財政基盤の安定化に努めてまいります。

平成13年度 資金収支計算書

平成13年4月1日から平成14年3月31日まで（単位：千円）

資金収入の部		資金支出の部	
科目	決算額	科目	決算額
学生生徒等納付金収入	4,347,354	人件費支出	5,297,280
手数料収入	124,605	教育研究経費支出	769,741
寄付金収入	94,882	管理経費支出	379,407
補助金収入	1,261,322	借入金等利息支出	13,303
資産運用収入	47,694	借入金等返済支出	547,157
資産売却収入	-	施設関係支出	225,820
雑収入	422,985	設備関係支出	117,761
借入金等収入	211,330	資産運用支出	22,193
前受金収入	1,285,978	その他の支出	643,560
その他の収入	811,355	資金支出調整勘定	606,605
資金収入調整勘定	2,139,109	次年度繰越支払資金	13,009,989
前年度繰越支払資金	13,951,210		
資金収入の部 合計	20,419,606	資金支出の部 合計	20,419,606

平成13年度 消費収支計算書

平成13年4月1日から平成14年3月31日まで（単位：千円）

消費収入の部		消費支出の部	
科目	決算額	科目	決算額
学生生徒等納付金	4,347,354	人件費	4,977,477
授業料	2,437,754	教職員人件費	4,743,041
入学金	442,533	退職金	8,060
施設設備費	792,051	退職給与引当金繰入額	226,376
維持費	524,984	教育研究経費	1,396,952
諸費	150,032	(減価償却額)	627,212
手数料	124,605	管理経費	433,597
寄付金	106,020	(減価償却額)	54,190
一般寄付金	94,882	借入金等利息	13,303
現物寄付金	11,138	資産処分差額	23,871
補助金	1,261,322		
国庫補助金	300,234		
地方公共団体補助金	714,290		
授業料軽減補助金	231,636		
入学納付金補助金	15,012		
日本国際教育協会援助金	150		
資産運用収入	47,694		
資産売却差額	-		
雑収入	123,163		
雑収入 合計	6,010,158		
基本金組入額 合計	475,334	消費支出の部 合計	6,845,200
消費収入の部 合計	5,534,824	当年度消費支出超過額	1,310,376
		前年度繰越消費収入超過額	6,712,870
		翌年度繰越消費収入超過額	5,402,494

中部の私立大学展



大学院の入学相談会
名古屋経済大学大学院
の入学相談会は十一月三十
日午後一時から三時まで、
名古屋市中区の栄サテライ
トキャンパス中統奨学館ヒ
ル内)で開催します。

来年度入試に備えた「中部の私立大学展」(愛知県私立大学広報委員会主催)が6月と8月の2回名古屋国際会議場で開かれ、本学のコーナーでは大学と短大部を合わせ約150人の相談を受け付けました。



音部訓子さん、「名古屋市芸術奨励賞」に輝く!

本学短期大学の前身である市郵学園短期大学の第二回卒業生で、現在、名古屋市在住のイラストレーター音部訓子さんが、このほど名古屋市芸術奨励賞を受賞しました。

独特の女性像を鉛筆画で表現した音部さんは、数々の個展や「GIRLS」（一九七五）・「SOMETHING」（一九七七）などの画集の刊行で、二十代の頃から注目を集めてきました。以後は、芥川賞作家の宮本輝氏や直木賞作家の五木寛之氏などの小説の挿絵や、広告・映像などの分野でも実力を発揮し、独自の作風を確立し、日本の代表的なイラストレーターとして、アメリカやヨーロッパなど、世界を舞台にして活躍しています。

一方で、名古屋イラストレータークラブの役員・日本グラフィックデザイナー協会
会員・中部デザイン団体協議会の副理事などを歴任し、この地域のデザイン振興にも尽力してきました。
今回音部さんが受賞した名古屋市芸術奨励賞は、美術・演劇・音楽・

伝統工芸・芸能・文学・舞踊など種々の芸術創作活動の分野において活発な活動を継続し、今後名古屋市での芸術文化の創造に寄与されることが期待される人に贈られるもの。まさに、音部さんのこれまでの功績が評価されて授与されたのですが、イラストレーターの部門では初の受賞ということでした。

音部さんの受賞を祝い、中部デザイン界の有志が発起人となって開催された祝賀会（写真）では、本学在学時代の同級生とともに恩師の加藤大博先生（現・本学短期大学部生活文化学科長）も花束を持つて駆けつけ、祝辞を述べました。

セクシユアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）について

水田珠枝（経済学部教授）

性的嫌がらせは以前から存在し、しばしば男性の自然の行為として容認されてきました。しかし一九六〇年代末にアメリカ合衆国から世界的に波及したフェミニズムの高揚の中で、女性に対する侮辱的発言や行為といった性的嫌がらせは、個人的問題ではなく社会的・政治的問題だという認識が生まれ、セクシユアル・ハラスメント（略

称セクハラ）と名付けられるようになりました。

一九九五年に開催された第四回世界女性会議では、セクハラを女性の人権に対する侵害であり暴力であると規定した。北京宣言及び行動綱領」が採択され、その除去を各国政府、国際機関、あらゆるレベルの組織に呼びかけました。

セクハラは、両性が権力関係におかれる職場や教育機関で発生しがちです。日本では「男女雇用機会均等法」第二条で、解雇、降格、減給など女性労働者への不利



益を利用した対価型セクハラと、女性に不快感を与え就業環境を害する不環境型セクハラの防止が雇用に義務づけられています。

また、一九九九年には文部省（現在の文部科学省）がセクハラの防止規定と指針を制定しました。それを契機に、各大学でセクハラを

防止し、発生した場合は迅速かつ適切に処理する機構の設置が進められてきました。近年、キャンパス・セクハラが報道されるようになったのは、このような大学の対応によって、従来無視されてきた問題が顕在化したからでしょう。

本学でも、セクハラに関する苦情を申し出る相談窓口、事実関係を調査し処置案を検討して学長に具申する委員会が設置され、それらの職務規定を含む「セクシユアル・ハラスメントの防止に関するガイドライン」が策定されました。

このガイドラインではセクハラの防止を重視し、セクハラとなる言動の具体例を列挙して全学に防止に努力するよう自覚を促すと同時に、セクハラが発生した場合には無視したり受け流したりすることなく、相談員に申し出るように呼びかけています。

水田珠枝教授の近況

水田教授は東海ジェンダー研究所理事を務め、7月名古屋で開かれた夏期講座「女性と政治」の第1回「アメリカ参政権の歴史」を担当しました（写真はその時の水田教授です）。

昨年発行された『世界女性学基礎文献集成』の明治大正編全15巻の監修者でもあります。また、名古屋弁護士会の人権賞選考委員会委員を委嘱されています。

本学教授陣による新刊図書を、著者に紹介してもらいます

鈴木正著

増補
狩野亨吉の思想

「平凡社ライブラリー/1200円・税別」

本／人／影「北樹出版」

2800円・税別



『狩野亨吉の思想』は、かなり以前に執筆したもので、今回平凡社ライブラリーの一冊に入った。それを担当した編集者が刊行まもない六月九日の『朝日新聞』と『東京新聞』（「ちち」は『中日新聞』）の文庫・新書欄に書評が同時に出たので、いい企画をしたでしょうと先見を誇って電話をかけてきました。中味の紹介の一端にとおもって、引用すると「人倫を説きながら功利主義を推奨した明治国家を批判した狩野は、京大文化学長に就きながらエリートコースを降り

た異色の思想家、安藤昌益の紹介者でもある」（朝日）、「在野の思想家に徹した狩野亨吉。その生涯と業績を近代思想史の流れの中で再評価する」（中日）そんな視点でとりあげられた。

もう一方の『本／人／影』は北樹出版より今年の三月に刊行された。一九九八年から二〇〇一年にかけて書いた書評・エッセー集で古書三十六冊をとりあげた「本が映した近代日本の心景」を含んでいる。

進藤 鈴子 著

アメリカ大衆小説の

1850年代の女性作家たち 誕生

「彩流社刊/2500円・税別」



文学教育も一つの政治的な目的を持つものであることは言うまでもないが、アメリカ文学史の教育においても、キャノン（教科書への掲載規準）形成の過程において、様々な偏見と政治的ドグマが働いていた。特にアメリカ・ルネッサ

千種文化小劇場の開場セレモニー
柿落として出演

加藤大博
（短期大学部生活文化学科教授）



身近なところで気軽に文化活動ができる場として、名古屋市内で十二館目の劇場となる千種文化小劇場が十月二十三日、千種区吹上交差点北西にオープンしました。その柿落として、「誕生・祈り」をテーマに音楽・演劇・美術のコラボレーションを行いました。

ンスと呼ばれる一八五〇年代前半、いわゆる古典作家（そのすべてが男性作家である）たちではなく、多くの女性作家たちが文学界において活躍していた。彼女達の作品は感傷的、扇情的、説教臭いと批判され、「男らしさ」「こそ、アメリカらしさ」である、というアメリカ文学のキャノンをクリアしないという理由から、文学史上から消し去られた。彼女たちのベストセラーを掘り起こし、一八五〇年代の大衆小説の幕開けを可能にした社会的背景を検証したものが拙著である。先進国の中でもいち早く女性参政権を認めたアメリカが、実は女性の社会進出を拒む社会であったことがアメリカ文学の本当の成立過程を知ることにより明らかにされる。

出演者は天野鎮雄さん（朗読）、佐々木惇利子さん（ピアノ）、加藤大博（現代美術）でした。劇場は市民の声をとり入れ、正八角形の中央舞台を備えた円形劇場です。ホール内は一体感・臨場感のある雰囲気演出できる空間となっています。多様な表現活動の利用ができる「場」として期待され、現代美術の表現活動をしている私に参加依頼があり、重責を担いました。私（写真、右から三人目）は舞台でのお二人の単に背景としてでなく、テーマのイメージ「たまご」を布にプリントした六十点ほどの作品でインスタレーションしながら表現しました。幸い印象深い表現ができ、好評を得ました。



双六祭 SUGOROKUSAI

大学、短期大学部合同の
第15回双六祭は10月26、27両日に
“新・戯・体”をテーマに開かれました。



フットサル大会で賑わう



準備をする学生たち



各ゼミが張り合った模擬店



夜のコンサートの彼女(?)たち



庭園ステージのフラダンスショー

平成15年度 入学試験要項

名古屋経済大学 募集定員

経済学部 現代経済学科 150名 経営学部 経営学科 200名 法学部 法学科 300名

区分	出願期間 消印有効)	試験日	発表日
AO試験 後期	第一次審査 11月25日(月) 12月2日(月)	第一次審査 12月7日(土)	第一次審査 12月12日(木)
	学力試験 前期	1月15日(水) 1月28日(火)	2月2日(日)
2月6日(木)			2月11日(祝)
2月7日(金)			
2月8日(土)			
学力試験 後期	2月17日(月) 2月25日(火)	2月7日(金) 2月8日(土)	3月4日(火)
		3月1日(土)	
「センター試験」利用試験 前期	1月15日(水) 1月31日(金)	本学独自の個別試験は 実施しません	2月11日(祝)
	後期 2月24日(月) 3月8日(土)		3月15日(土)

入試科目

AO試験 書類審査・面接
学力試験 期 英語・国語・日本語B、世界史B、政治・経済、
 数学・数学A(数と式)から当日1科目選択
 ・2月2日は上記の2科目、計200点満点
 ・2月6日、7日は上記の3科目、計300点満点
 ・2月8日は上記の1科目と2科目、計200点満点
学力試験 期 英語・国語・各100点、計200点満点
「センター試験」利用試験 高得点2教科2科目で判定 計400点満点



名古屋経済大学 短期大学部 募集定員

現代コミュニケーション学科 100名
 商経科 160名
 生活文化学科
 生活文化専攻 60名
 食物栄養専攻 60名
 保育科 150名

区分	出願期間 消印有効)	試験日	発表日
一般試験 前期	1月14日(火) 1月24日(金)	2月1日(土)	2月4日(火)
		2月2日(日)	
一般試験 後期	2月17日(月) 2月25日(火)	3月1日(土)	3月4日(火)

入試科目

一般試験前期 国語・英語の2科目、計200点
 (2月1日(土)と2月2日(日)は同一日程)
一般試験後期 現代コミュニケーション学科、商経科、生活文化学科
 小論文(600字から800字)
 保育科 小論文(600字から800字)および面接